



最近の活動の状況



○ 令和5年10月13日（新潟県水難救済会・佐渡南部救難所）

・13日午前9時30分頃、佐渡市小木漁港岸壁において、漁業者の妻が漁船から岸壁に渡る際に海に転落した。漁業者から救助要請を受けた救難所員5名は、ロープに掛まり救助を待つ事故者を漁船に引き上げ搬送後、救急隊に引き継ぎ救助を完了した。

○ 令和5年10月6日（佐賀県水難救済会・玄海中地区救難所）

・6日午前9時30分頃、唐津市鎮西町松島付近において、1名乗りの漁船が機関故障により航行不能となった。唐津海上保安部から出動要請を受けた救難所員は救助船に乗り組み出動し、漁船を呼子港まで曳航し救助を完了した。

○ 令和5年10月2日（熊本県水難救済会・松尾救難所）

・2日午後7時頃、宇土市所在の住吉灯台の北側沖合において2名乗りの漁船が転覆した。熊本海上保安部から出動要請を受けた救難所員3名は救助船にて出動し搜索していたところ、漁船と乗員が救助されたとの連絡を受け搜索活動を終了した。

○ 令和5年10月1日（長崎県水難救済会・野母崎救難所）

・1日午後1時20分頃、長崎市樺島沖において、8名乗りのプレジャーボートのパラシュートアンカーがスクリュー及び舵に巻き付き航行不能となった。関係者から出動要請を受けた救難所員6名は救助船2隻に乗り組み出動し、プレジャーボートを脇岬港まで曳航し救助を完了した。

○ 令和5年9月30日（山形県水難救済会・酒田救難所）

・30日午前6時30分頃、酒田港内において、2名乗りのプレジャーボートが機関故障により航行不能となった。酒田海上保安部から出動要請を受けた救難所員4名は救助船に乗り組み出動し、プレジャーボートを酒田海上保安部前の岸壁まで曳航し、海上保安部職員に引き継ぎ救助を完了した。

○ 令和5年9月25日（福岡県水難救済会・芦屋救難所）

・25日午前11時30分頃、遠賀郡芦屋町所在の芦屋海水浴場沖合において、1名乗りのSUPが流され帰還不能となった。若松海上保安部から出動要請を受けた救難所員2名は救助船に乗り組み出動、現場海域に巡視船も到着したことから巡視船に救助を引継ぎ救助活動を終了した。

○ 令和5年9月24日（福岡県水難救済会・野北救難所）

・24日午前7時30分頃、糸島市コブ島の南海域で2名乗りのボートが船外機故障のため帰還不能となった。同ボートを発見した漁業者から出動要請を受けた救難所員4名は救助船に乗り組み出動し、要救助者2名を救助船内に収容後、ボートを野北漁港まで曳航し救助を完了した。

○ 令和5年9月24日（千葉県水難救済会・新富津救難所）

・24日午前10時頃、富津市下洲漁港沖において、1名乗りのディンギーヨットが航行不能となった。木更津海上保安署から出動要請を受けた救難所員4名は救助船に乗り組み出動し、乗員とヨットを船内に収容後、下洲漁港に入港し救助を完了した。

○ 令和5年9月19日（北海道海難防止・水難救済センター・枝幸救難所）

・19日正午頃、枝幸郡枝幸港外付近において、2名乗りのプレジャーボートが機関故障により航行不能となった。稚内海上保安部から出動要請を受けた救難所員3名は救助船に乗り組み出動し、プレジャーボートを枝幸港まで曳航し救助を完了した。

○ 令和5年9月17日（福井県水難救済会・敦賀市水難救難所）

・17日午前7時頃、敦賀市所在の明神崎の南側において1名乗りのカヤックが転覆した。敦賀海上保安部から出動要請を受けた救難所員は救助船にて出動し、要救助者及びカヤックを救助船内に収容後、付近漁港まで搬送し救助を完了した。

○ 令和5年9月5日（北海道海難防止・水難救済センター・鬼脇救難所）

・5日午前1時30分頃、利尻島鬼脇沖において、操業中の漁船が無人になっているのを僚船が発見した。防災無線を傍受した操業中の救難所員36名と協力者1名は救助船7隻と協力船1隻で直ちに海中転落者の搜索を開始した。午前6時15分頃、海上保安庁が海中転落者を救助したため搜索活動を終了した。

